

6万会員のための情報紙

県P情報

やまなし

No.122

2014(平成26)年
11月1日●発行/山梨県PTA協議会 会長 小林奈都夫 〒400-0031 甲府市丸の内三丁目33-7 TEL.055-228-1342
●編集/山梨県PTA協議会情報委員会 ●印刷/株式会社GRANT

題字 渡辺 慈仁 (PTA元全県副会長)

子どもの命を守るPTA ～皆さんに必要な県Pを目指して～

平成26年度
山梨県PTA協議会

会長 小林 奈都夫

2月の豪雪に耐えた果樹に実った桃や葡萄の収穫が終わったと思えば、お隣り信州では、御嶽山が大噴火。児童を含む多くの皆様が命を落とされました。また、夏から秋にかけては、大雨や連続でやってくる台風などによる被害が多発し、今年は自然災害の脅威を知らされる日々であります。亡くなられた方々のご冥福をお祈りするとともに、ご遺族の皆様に対しお悔やみ申し上げます。

我が県においても、いつ起きてもおかしくない東海地震や富士山の噴火、さらには、交通事故や各種犯罪、いじめや児童虐待など、大人が真剣に「子どもたちの命を守ること」に取り組むことが急務となっています。

各校のPTAでも、様々な防災・防犯活動にお取り組みのことと思いますが、飲み物や食べ物を備蓄することも大切ですが、いざというときに本当に自分の命を、子どもの命を守ることができるか、もう一度、身の回りを点検してみてください。家の中にも、通学路にも、命を奪うモノ、環境が結構あることに気がつくと思います。

各校や郡市だけでは、解決できない事項もたくさんあります。そのような時は、郡市PTAなどを通じて、県PTA協議会へ、ご意見やご要望をお寄せください。本協議会としての役割をしっかりと果たすべく、皆様の地道な活動をご支援させていただくとともに、関係機関への呼びかけや要請活動を行ってまいります。今後も、先生方と保護者が一体となって、子どもたちの学校や家庭、地域における生活環境改善のために努力してまいります。ご理解とご協力をお願いします。

第2回 山梨県PTA大会 テーマ『災害から子どもの命を守る』

- 日時 11月29日(土) 午後1時～4時
- 会場 甲斐市双葉ふれあい文化館
- 内容
 - ★第1部 ○PTAからの報告(企画委員会)
 - 県社会教育振興会からの実践発表
 - ★第2部 ○「災害から子どもの命を守る」問題提起
 - HUG(避難所運営ゲーム)実演
- 【参加申込】 事前に各校PTA事務局または
県PTA事務局へ

日本PTA国際交流・研修事業参加者 募集中

全国の少年少女が国内施設に集合し、国内交流による絆を深めるとともに、研修を通じて異文化など国際理解への視野を広める。

- 期間 平成27年3月26日(木)～29日(日)
- 場所 沖縄県渡嘉敷島
- 対象者 中学2年生各県男女1名
- 参加費 5万円程度/1人(個人負担)
- 【問合せ】 詳しい内容を知りたい方は、県PTA協議会へ
締め切り 11月20日(木)

高根北小・泉中に栄光! 山梨県PTA広報紙コンクール～高根北小は日P会長表彰も受賞～

平成26年5月17日、甲府市南部市民センターに於いて県内の単位PTAより寄せられた中から次の優秀広報紙が選ばれました。そして、日本PTA全国協議会に下の7校を推薦したところ、高根北小の「もみじ」が、日本PTA全国協議会会長賞をめでたく受賞しました。これは、山梨県PTAとしては初めての
大賞です。

- 【最優秀】 北杜市立高根北小学校PTA「もみじ」
北杜市立泉中学校PTA「湧泉」
- 【優秀賞】 甲州市立塩山北小学校PTA「北辰」
甲府市立南西中学校PTA「いちょう」
- 【奨励賞】 甲府市立舞鶴小学校PTA「まいづる」
北杜市立高根東小学校PTA「のぞみ」
北杜市立須玉中学校PTA「須玉中広報」



最優秀賞に輝いた
北杜市立高根北小学校
PTA「もみじ」(写真左上)
北杜市立泉中学校PTA
「湧泉」(同右下)

平成26年度 定期総会開催

～平成26年6月7日(土) 勝山ふれあいセンター～

山中伸一文部科学省事務次官をはじめ多数の来賓の方々を迎え開催されました。事業・決算の承認後、小林奈都夫会長が再選され、活動方針、予算が可決されました。議事終了後、文部科学省の山中事務次官から講話をいただきました。



山中事務次官



平成26年度 事業計画

〔活動方針〕

- 1 教育の原点は「家庭」であると再確認し、社会教育団体であるPTAが牽引役となるよう学校・地域と連携して、子どもたちの心豊かで健やかな成長を目指す。
- 2 様々な災害や交通事故から子どもの命を守り、防犯・防災につながるPTA活動を推進できるよう単位PTAに活動方法の提案を行うとともに、関係機関の連携を進める。
- 3 いじめ・不登校・体罰・学力向上問題等を真摯に受け止め、保護者、教職員一丸となって、問題解決のため情報収集や調査研究、要望活動を行う。
- 4 会員相互の結びつきを深め、PTA活動の資質向上を図り、家庭・学校・社会が抱える課題に応えるPTA活動のあり方を探求する。
- 5 日本PTA・関ブロ・県・郡市・単位PTA・教育諸団体と連携し、青少年の健全育成と教育条件整備を推進する。

〔具体的活動〕

- 1 山梨県PTA協議会の運営(総会・理事会・諸会議及び委員会)
- 2 教育相談・調査研究・情報収集事業
- 3 家庭・学校・地域社会教育に関する研修会や講演会活動
- 4 PTA活動(社会教育)に関する表彰事業
- 5 家庭・学校・地域教育・安全教育に関する広報・安全啓発活動
- 6 教育・行政・日本PTA等教育関係機関との連携政策提言事業

常置委員会

総務委員長

植村 武彦 (甲府東中P)



県内の児童・生徒が毎年2千人近く減少する中、持続可能で魅力的な県PTA協議会のあり方を組織・財務面から検討します。精一杯取り組んで参りますので、よろしく願います。

情報委員長

新井 賢吾 (甲府西中P)



山梨県PTA協議会情報紙を通して会員皆様に興味を持っていただける情報紙作りや、ホームページ、フェイスブックにおいても活動内容を紹介しておりますので、どうぞよろしく願います。

企画委員長

磯村 賢一 (牧丘第一小P)



本年度の県PTAテーマである「災害から子供の命を守る」に基づき、2月に降った豪雪の経験、今後想定されている東海沖地震への対策について本委員会で、まとめて参りたいと思います。

母親委員長

反田 友美 (善誘館小P)



山梨県PTA大会に携わり2年目の年になるので、大会に向け母親委員長として何が出来るか、私自身楽しみにしています。大会を通して母親委員会の意義を見出すことが出来れば、大変嬉しく思います。

扶協会認定委員長

渡邊 治男 (吉田小T)



本委員会では、主に見舞金給付に関する審査・認定と運営委員会を年間9回開催しています。会員及び児童生徒の不慮の事故傷害等への見舞給付が公平かつ円滑にできるよう努めてまいります。

平成26年度 県P常任・監事役員

会長	小林奈都夫	山梨南中P	(本年度、小林奈都夫会長は、日本PTA全国協議会副会長に就任致しました。)	
安全鉄助会長	三井久美子	御坂中P		
副会長				
甲府	植村武彦	甲府東中P	中巨摩東部(甲斐)	立花佑子 竜王北小P
峡東(山梨)	磯村賢一	牧丘第一小P	峡南	丹沢真樹 上野小P
峡北(北杜)	中込豊	武川中P	南都留(吉田)	渡邊徹 下吉田中P
北都留(北都)	関戸幸子	秋山小P	校長会	川崎敏朗 塩山北中T
全県代表	進邦徹夫	上野原西小P	母親代表	大沢栄子 鯉沢小P
常任理事				
南アルプス	中野智仁	櫛形中P	甲州	矢崎義男 祝小P
笛吹	前島宏文	浅川中P	韭崎	武川知明 韭崎西中P
都留	遠山廣明	谷村第二小P	南都留	坂本泉 山中湖中P
大月	藤本実	鳥沢小P		
総務委員長	植村武彦	甲府東中P	情報委員長	新井賢吾 甲府西中P
企画委員長	磯村賢一	牧丘第一小P	母親委員長	反田友美 善誘館小P
安全会審査運営委員長・扶協会認定委員長	渡邊治男 吉田小T			
監事				
教職員代表	浅利 司	白根御勅使中T	保護者代表	石原初江 玉諸小P
保護者代表	佐藤理絵子	小淵沢小P		

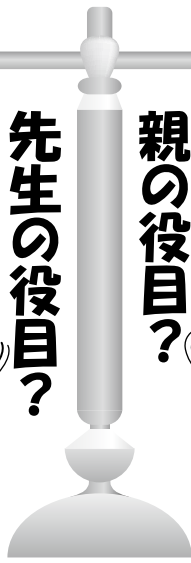
※その他の理事役員はHPをご覧ください

特集

子どもとともに親も成長しよう!

それぞれの立場の人が「学校に対応してほしい」と要望していることは、本当に学校で対応する必要があること?それとも家庭や地域で対応すること?どちらでしょう?みなさんは、どう思われますか?

※富山県「親を学び伝える学習プログラム」より引用



隣の家との折り合いが悪くなっているのに、隣の子どもうちの子の登下校班を別々にしてほしいんだけど。



英語の学習が始まっていると聞きました。お隣の子どもは塾に通っているそうです。うちの子も通わせたいほうが良いですかね?



うちの子は落ち着きがなくて、このままでは将来が心配だ。学校できちんとしつけてもらえないだろうか?



今の子どもたちのラジオ体操を見たんだけど、いったいどうなっているのか。学校でしっかり指導しているのか!



学校が終わってそのまま家に遊びに来る子どもがたくさんいて、非常に迷惑しています。保護者の方に注意してもらえませんか?



行事で児童に集まってもらったが、ゲーム機は持ってくるし、ガヤガヤうるさいし、人の話を全然聞いてない。学校では何を教えているのか?



子どもが全然学校に行きたがりません。申し訳ないのですが、先生が朝、家まで迎えに来てくれないでしょうか?



宿題が難しくすぎます。親が手助けをしなくても子どもの力だけでできるように、量と内容を考えてください。



うちの子、好き嫌いが多くいます。給食のとき、嫌いなものでも残さず食べるように言ってくださいませんか?



孫の順番に合わせて来てみたら、もう終わっているじゃないか!天候の都合が何か知らないが、運動会の競技順を勝手に変えるな!



「食育」について子どもたちと話し合いをしたと思います。その後、一緒に楽しくおやつ作りをしたいと考えているのですが、機会をもうけていただけませんか?



隣のクラスと比べて宿題が少ないと思います。あつという間に終わってしまうので、もっとたくさん出していただけませんか?



学校の対応には時間・空間、また人員にも限りがあります。一つ一つの事例を見ると、明らかに学校ではなく家庭がかかわった方がよいことが含まれています。

学校に対応してもらってもよさそうなことでも、たくさんあると学校が本来しなければいけないこと(知識や技能を身に付け、豊かな人間性をはぐくむ)が十分にできなくなります。学校と保護者・地域が協力し合って、よりよい教育環境を作っていくには、それぞれの立場を尊重し理解し合うことが重要になります。

第62回 日本PTA全国研究大会長崎大会 8月22日(金)~23日(土)

大会スローガン「異国情緒豊かな長崎で 集い、語らい、学び合い」

8月22・23日の2日間、全国から9,300名のPTA関係者が集い、第62回日本PTA全国研究大会が、長崎県の各地で開催されました。

山梨県PTA協議会からは、全国でPTA活動に勤しむ方々との交流を深めるとともに、分科会・全体会を通して、PTA活動に対する各々の知識向上を目的に、小林会長をはじめ、15名が参加しました。

1日目は、諫早市で行われた、特別第2分科会に15名全員で参加し、「絆の力が生み出す日本の明るい未来」をテーマに、東北芸術工科大学教授・山崎亮氏の講演を拝聴しました。

地域と連携する意味、価値、あるいは、そこで生まれる、人と人との繋がり的重要性など、これからのPTA活動に大変役立つ内容でした。また、この分科会は、本県小林会長(日本PTA全国協議会・副会長)が大会運営委員長として運営を支えました。

また、1日目の分科会終了後には、山梨県PTAと静岡県PTAによる懇親会が長崎市内で行なわれ、世界文化遺産に登録された「富士山」を中心に、これからの様々なPTA活動での協力、支援などを

確認し合い、価値ある時間を過ごすことができました。

2日目は、全体会が長崎市で行なわれ、NHK教育テレビの司会などを務められ、育児漫画家として活躍される高野優氏の講演がありました。「子は育ち、親も育つ。楽しまなくちゃもったいない。」のテーマのもと、直接漫画を描きながら、ご自身の育児体験など、また、小・中学生の子どもたちの現状や、子どもたちの将来に向けてのご自身としての意見などを的確にお話いただきました。

この大会を通して学んだことを最大限に生かして、今後のPTA活動に取り組んで参りたいと思います。



渡邊 徹(富士吉田市・下吉田中P)

親子安全会・扶助会だより



山梨県PTA親子安全会
山梨県PTA扶助会

会長 三井 久美子

親子安全会・扶助会は、山梨県PTA協議会の事業の一環として、なによりも大切な子どもと会員の皆様の安全意識の向上を図るとともに、不慮の事故に対する見舞金の給付、および厚生援助金の給付を行うことを目的としております。

また、目的の達成のために、健康安全教育や福祉増進の啓発と深化に努めて、PTAと学校を側面からサポートする取り組みを行っています。

給付申請の詳細については、各学校より配布されております「親子安全会見舞金制度の手引き」をご参照ください。

本紙に平成25年度に発生した事故や怪我等の状況別の件数を掲載いたしました。

昨年度は、1,666件の申請があり、総額23,649,255円の見舞金と、6,200,000円の厚生援助金の支払いを行いました。

事業の健全運営を図るために、審査運営委員会・認定委員会を年間9回行い、各郡市代表の校長先生をはじめとする16名の認定委員と医師1名、事務局2名が公平・公正な給付の徹底を図るよう努めております。

見舞金の申請は、怪我等の発生日より1年6カ月間は可能です。詳しくは、各学校・山梨県PTA親子安全会事務局にお問い合わせください。

PTAの諸先輩の努力で成り立った事業です。今後とも、皆様のご支援ご協力を宜しくお願い致します。

平成25年度親子安全会・扶助会報告

申請原因別件数

(全1,666件中上位10項目)

けがの原因	件数
1 球技による事故	453
2 遊んでいての事故	322
3 転倒による事故	185
4 自転車による事故	149
5 その他	146
6 交通事故	90
7 病気死亡	56
8 格技による事故	45
9 転落による事故	39
10 ドア、ガラス等による事故	31
10項目合計	1,516

申請種類別件数

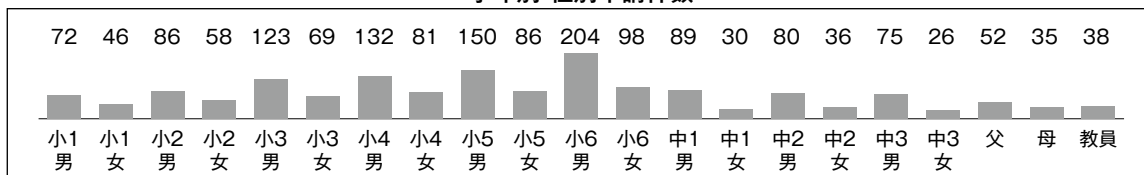
(全1,666件中上位10項目)

けがの類別	件数
1 骨折	732
2 捻挫	302
3 挫創	122
4 打撲	76
5 その他	68
6 損傷	67
7 切創	59
8 病気死亡	56
9 挫傷	53
10 熱傷	36
10項目合計	1,571

郡市別申請件数・見舞金額

郡市	件数	金額
甲府	281	4,385,300
中巨摩	368	5,092,070
甲州	82	904,290
山梨	97	1,202,910
笛吹	115	1,741,930
峡南	134	1,248,370
韮崎	68	1,079,800
北杜	83	1,284,550
吉田	130	1,870,300
都留	75	980,690
南都留	125	2,223,800
大月	36	563,000
北都留	72	1,072,245
合計	1,666	23,649,255

学年別・性別申請件数



※平成25年度は62名の保護者の方がお亡くなりになり、扶助会から総額6,200,000円が支払われました。

山梨県教育四者教育相談員連絡会

相談会場等案内 ■相談時間 午後1時30分～5時

※相談は無料です

地区	会場	住所	TEL	相談曜日	相談員
東山梨	東山梨教育会館	甲州市塩山千野3421	0553-33-2635	第2・第4水曜	依田 一秀
笛吹	笛吹市教育会館	笛吹市八代町南438	055-265-2117	随時対応	塚越 武文
峡南	峡南教育会館	南巨摩郡富士川町鯉沢795-4	0556-22-1500	随時対応	尾崎 源武
中巨摩	中巨摩教育会館	南アルプス市西野1294	055-282-5070	毎金曜日	渡邊 正義
北巨摩	北巨摩教育会館	韮崎市若宮2-6-26	0551-22-0540	第1・第3月曜	仲田 俊朗
南都留	南都留教育会館	富士吉田市下吉田886	0555-23-6151	随時対応	奥脇 義徳
北都留	北都留教育会館	大月市大月2-8-29	0554-22-1811	第1・第3月曜	佐々木正文
全県	山梨県教育会館	甲府市丸の内3-33-7	055-228-1342	随時対応	澤登 義洋 武井 文雄

平成25年度 教育相談の状況

教育四団体は、山梨県PTAが事務局となり教育相談室を開設しています。退職教員が県教育委員会から任命されています。子育てに関わる悩みや心配事等気軽にご相談ください。

相談者数内訳

①相談対象件数 *()は電話相談 内数

小学生	中学生	幼児	高校生	一般	合計
42(16)	14(4)	0(0)	2(0)	2(2)	60(22)

②延べ相談者数 *()は電話相談 内数

本人	父親	母親	祖父母	教師	養護教諭	その他	合計
1(0)	4(0)	51(21)	5(0)	3(1)	0(0)	0	64(22)

編集後記

今年初めて山梨県PTA協議会に仲間入りさせていただきました。県Pの活動に参加させていただける事に感謝いたします。年々少子化が進み県P財政が厳しい中、複数の印刷会社より見積書をいただき、情報副委員長の力を借りまして経費削減が可能となりました。

県P情報を通じてPTA会員皆様に活動がご理解いただけたら幸いです。発行に際しまして多くの皆様の協力をいただきましてありがとうございました。

情報委員長 新井 賢 吾